

科目名	カラーコーディネーション				
担当教員	木下 聡子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	<p>色の基本的な仕組みや、人に与える心理効果を学び、配色の基本や環境の事例を通して学ぶ。。</p> <p>1. 色の働きと分類、視覚効果の基礎と重要性を学ぶ。</p> <p>2. 人の心理と関係が深いことを認識し、環境に適した配色を理解する。。</p> <p>3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。</p>				
学習目標 (到達目標)	色彩の基礎を学び、効果的なカラーコーディネートが出来るようになることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①色彩検定公式テキスト ②新配色カード199用演習台紙 ③配色カード				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	概要説明 ①科目概要 ②色彩調和、 ③配色技法 ④色彩調和論			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～④が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
2	色が見える仕組み ①色が見える仕組み、 ②色の見えについて			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①②が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
3	色の測定 ①色の測定の種類、 ②色表示について			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①②が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
4	混色と色再現 ①混色の原理 ②色再現について			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①②が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
5	色彩の基礎 総合 ①色彩の基礎知識を総合的にまとめ			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
6	色彩計画と色彩表現 ①色彩計画 ②色彩表現			方法：教科書、教材、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①②が理解できている 準備学習：教科書①の予習	
7					
8					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	小テスト		インテリアにおいて色彩は重要な要素のひとつです。色彩の基礎をしっかりと身につけて色を使いこなせるよう、定期的に小テスト等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、教材や演習を織り交ぜ十分な解説を行う。	
5 %	55 %	40 %	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	店舗内装、撮影衣装などに関する色のアドバイス等の業務に17年携わる。				